

□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。 外部評価の結果

事業所名	グループホーム ひまわり
日付	平成19年1月22日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	① 介護支援専門員・介護福祉士 ② 介護支援専門員・栄養士
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業者のコメントを見る (評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります)	

※

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・今年度の目標としてアクティビティを増やしたいと計画をされていました。その取り組みとして入居者それぞれの希望に合わせ個別に実施され、初詣であればそれぞれの参拝希望先の神社に行ったり、本の好きな方は図書館の利用を計画するなど個々の希望に応じ臨機応変に対応されていました。また個別ケアを重視し、外出、食事などできる限り個々の入居者の希望に応じて対応しているとの事。安眠の支援、入浴など無理にではなく本人のペースや希望に合わせて生活が送れるよう在宅で生活しているような暖かい光景が窺い込まれていました。日々の食事についても入居者から希望があれば献立を変更して食べて頂けるよう取り組んでいるとの事です。
・ホーム内で犬や熱帯魚を飼い、散歩に行ったり世話を入居者と職員が一緒に行いその関わりを通して落ちついた生活が送れていました。
・看護師が常時日中に配置されており、主治医と連携をとり体調不良時、緊急時に対応ができる体制が整っていました。またターミナルケアも家族や医療機関と相談しながら行っていました。
特に改善の余地があると思われる点
・個々に合わせたケアを行い、入居者が落ちついて生活できるよう常に創意工夫されていることが伝わってきたなかでより向上して頂けるよう次の提案をさせていただきました。
1. ベランダの利用について入居者がベランダへ気軽に出入りできるよう出入口を工夫し、ベランダの空間を有効活用してはどうか
2. 介護計画立案時の家族の意見をこまめに聞いているがその記録やカンファレンスの記録についてより簡潔に整理すると分かりやすくなるのではないかと
3. 運営推進会議や法人全体でイベントを企画し地域との交流を図っているがより一層地域の方へ開放し理解をさらに深めてはどうか。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	『入居者の尊厳を守ること、個別性を尊重すること、選択の自由を』の理念に基づき、個別ケアを中心に入居者の方がご自宅で生活されていたそのまますべての生活を過して頂きたいことを基本に個人の意思を尊重するケアを心掛けている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周や空間の活用		○
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	入居者の自由を尊重し日課表を作成せず、本人がしたい事をできるだけ実行できるよう取り組んでいる。		
	昔の生活状況を知り、馴染みある環境設定や昔取り組んでいた事を振り返るようになっている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。		
	初回面接で幼少期からの生い立ち、生活歴等を聞き取り、その方一人一人が生活してきた環境をできるだけ多く情報収集しその環境に近い状態で生活できるよう取り組んでいる。		
	各個人の意思を尊重し、選択して頂き、その人らしく生活していただけるケアであるよう職員は常日頃心がけ日々の変化を把握しプライバシーに配慮しながら取り組んでいる。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	採用時、入社時オリエンテーションを行い事業所の方針、理念を周知している。また採用後1ヶ月、3ヶ月に研修を行い職員教育に力を入れている。		
	またグループ内の4箇所の事業所が集まり毎月テーマを決めて研修を行い質の向上に努めている。		
	外部研修についても全職員に案内し、希望に合わせて参加している。		